



Title	センターだより 大阪大学大型計算機センターニュース No.30
Author(s)	
Citation	大阪大学大型計算機センターニュース. 1978, 30, p. 3-32
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/65385
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

新システム移行計画

今年10月から来年1月にかけて、当センターの現有システムACOSシリーズ77NEACシステム800（以下システム800と略す）を上位機種であるACOSシリーズ77NEACシステム900（以下システム900と略す）に切替えるもので、今後の移行計画については、システム900の導入に同じくして多様な入出力装置を拡充するため、ソフトウェアの準備及びそのサービス・エリアの確保等種々問題があり、センターでも現在検討を進めておりますが、ここでは既に搬入を予定している図形処理装置やTSS端末の増設等、利用者からみて特に関係が深いと思われる事項について、その概要をお知らせいたします。

なお、新システムは、本年10月初旬に搬入され、11月より12月までの約2ヶ月間の運用テストに引き続き、昭和54年1月より正式サービスを開始する予定です。

1. 移行計画日程

	$\frac{53}{8}$	9	10	11	12	$\frac{54}{1}$	2	3	4
システム 8 0 0									
システム 9 0 0									
運用テスト (バッチのみ)									
〃 (TSS. バッチ)									
正 式 サ ー ビ ス									

（注）システム900のセンター各種サービスプログラムが準備でき次第昭和53年11月からシステム800より順次移行を行う予定です。

2. 運 用 関 係

（1）現行サービスの移行

既設端末、ファイル等の移行については、基本ソフトウェアがシステム900においても、現用のシステム800においても、同一のオペレーティングシステムACOS-6であるため、移行作業はセンター側の切換作業のみで済みます。

なお、既設端末、ファイルの移行方法については、事前に各利用者に移行時期の希望調査を行い実施する予定です。

(2) システム 900 による新しいサービス

ア 頁 検 索

利用者入出力室（バッチジョブ）を利用している利用者は、従来計算結果をラインプリンターに出力させてからでないと計算結果の内容を見ることができませんでしたが、頁検索用ディスプレイを利用することにより、次のような利用が可能となります。

(ア)出力結果の頁単位による検索

(イ)出力結果の頁単位による編集

(ウ)出力結果のキャンセル

イ、図形処理

従来、図形処理としては、ドラフター作図装置のみのサービスしか行っていませんが、システム 900 搬入に伴い、次のような 3 種類のサービスが、オープン方式で利用できるようになります。

(ア) デジタルプロッタによる図形出力

(イ) 3次元リフレッシュ型ライトペン付カラーグラフィックディスプレイによる図形処理

(ウ) 蓄積型グラフィックディスプレイによる TSS 用図型処理

ウ、利用者入出力

新しい利用者入出力として、フロッピディスク、手書き OCR（光学文字読取装置）の各媒体を取扱うことができます。

なお、フロッピディスクは、オンライン（TSS）及びオフラインの利用が可能となります。

エ、センター内端末の増設

現在、当センター特殊端末室には、ミニプリンター 4 台を TSS 端末として利用していただいておりますが、次のような端末が増設されます。

(ア)キャラクターディスプレイ端末 5 台

(イ)バトミントンプリンター端末 5 台

(ウ)ミニプリンター端末 1 台増設

以上の端末が増設され、特殊端末室の端末は、計 15 台設置されることになります。

オ、トークンカードによるデマンド出力

現在、デマンド出力は、端末機（ミニプリンター）を用いて、デマンドサービスを行っていますが、システム 900 の正式サービス（昭和 54 年 1 月）開始から、トークンカード（磁気カード）を利用してデマンドサービスをするように予定しています。

以上の新規サービスについては、現在運用方法等を検討中であるため、詳細については、今後運用方法、運用開始日時が決まり次第、速報等でお知らせいたします。

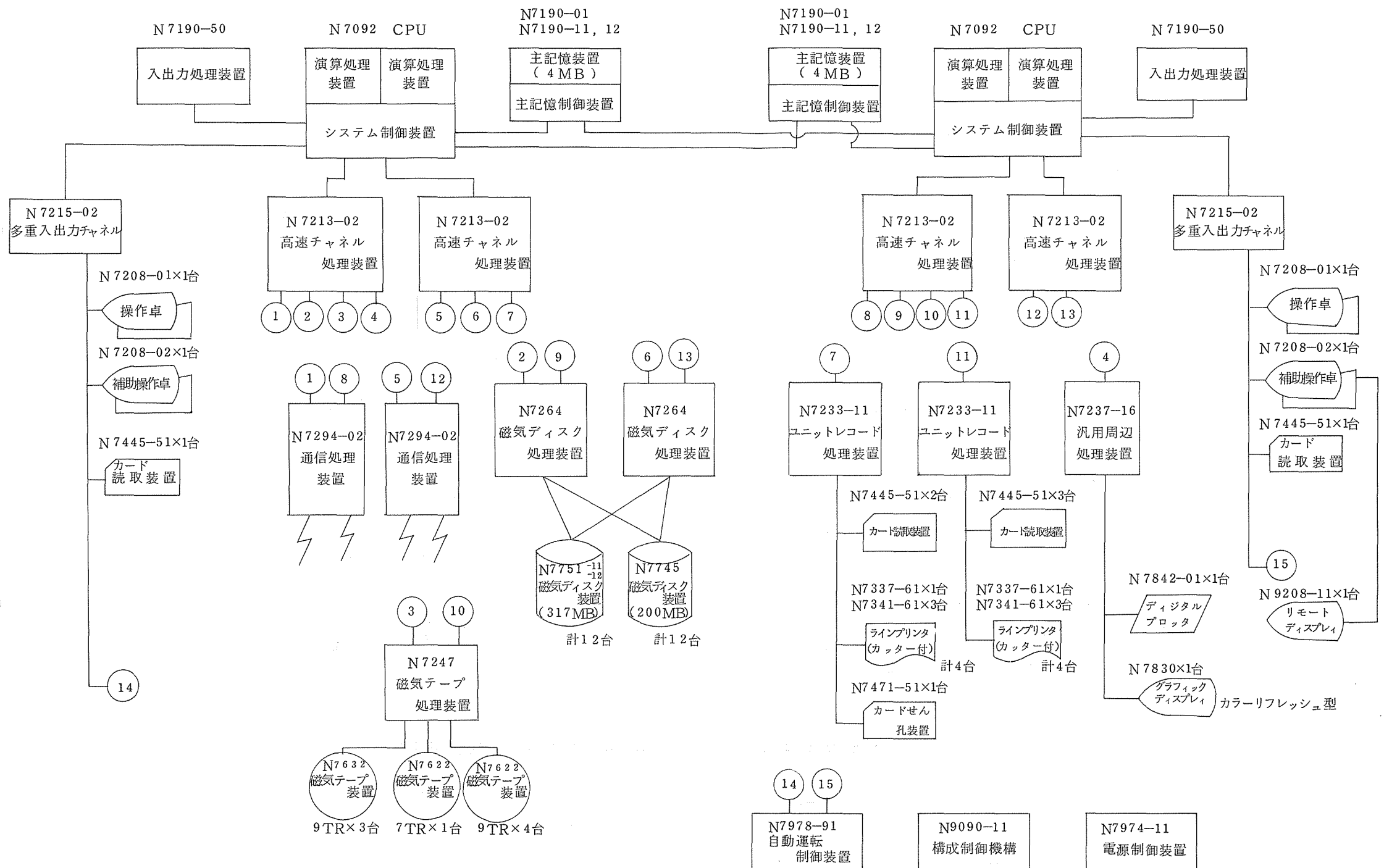
3. 次期システム構成図

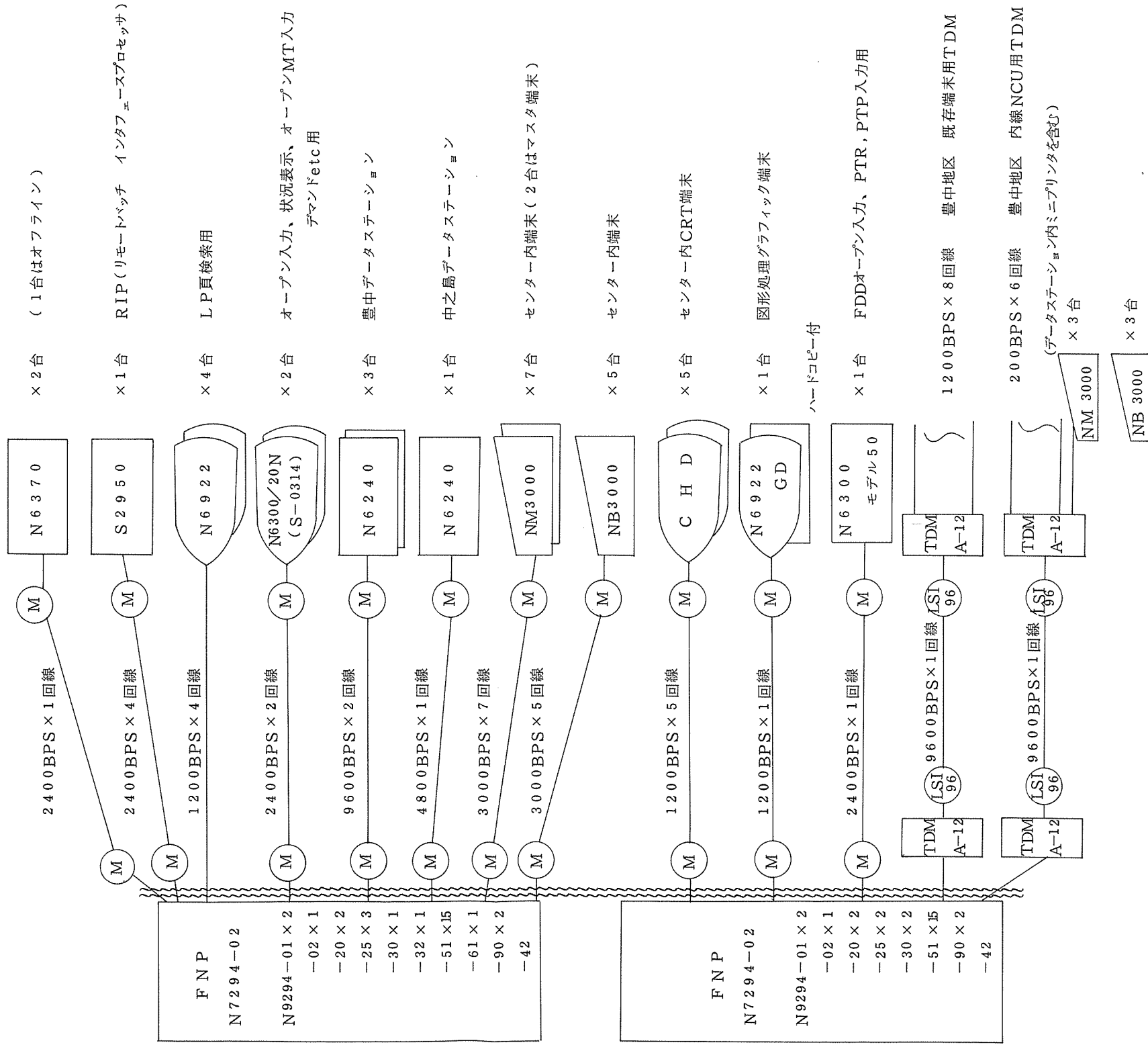
別紙のとおり

(業務掛・共同利用掛)

システム構成図

ACOSシリーズ77NEACシステム900モデル2





各種委員会委員名簿

運営委員会委員

	所	属	職 名	氏 名
委員長	センター長		教授	高 木 修 二
委員	東北大学	電気通信研究所	助教授	高 橋 理
〃	東京大学	教養学部	教授	小 野 周
〃	京都大学	大型計算機センター	助教授	星 野 聡
〃	神戸大学	工学部	〃	高 森 年
〃	岡山大学	理学部	〃	川 端 親 雄
〃	徳島大学	工学部	教授	富 田 豊
〃	大阪府立大学	〃	〃	児 島 義 明
〃	大阪市立大学	理学部	〃	尾 崎 誠 之 助
〃	関西学院大学	〃	〃	中 津 和 三
〃	大阪大学	人間科学部	〃	西 田 春 彦
〃	〃	経済学部	〃	横 山 保
〃	〃	理学部	〃	金 森 順 次 郎
〃	〃	医学部	助教授	魚 住 光 郎
〃	〃	工学部	教授	尾 崎 弘
〃	〃	〃	〃	関 谷 全
〃	〃	〃	〃	笠 井 暢 民
〃	〃	〃	〃	牧 之 内 三 郎
〃	〃	〃	〃	手 塚 慶 一
〃	〃	〃	助教授	安 井 裕
〃	〃	基礎工学部	教授	木 澤 誠
〃	〃	〃	〃	藤 澤 俊 男
〃	〃	教養部	〃	西 山 敏 之
〃	〃	産業科学研究所	〃	角 所 収
〃	〃	蛋白質研究所	〃	角 戸 正 夫
〃	〃	事務局長		齋 藤 寛 治 郎

常任委員会委員

	所	属	職 名	氏 名
委員長	セ ン タ ー 長		教 授	高 木 修 二
委員	関 西 学 院 大 学	理 学 部	"	中 津 和 三
"	大 阪 大 学	経 済 学 部	"	横 山 保
"	"	理 学 部	"	金 森 順 次 郎
"	"	工 学 部	"	尾 崎 弘
"	"	"	"	関 谷 全
"	"	"	"	牧 之 内 三 郎
"	"	基 礎 工 学 部	"	藤 澤 俊 男
"	"	蛋 白 質 研 究 所	"	角 戸 正 夫

教育・広報専門委員会委員

	所	属	職 名	氏 名
委員長	大 阪 大 学	理 学 部	教 授	金 森 順 次 郎
委員	大 阪 電 気 通 信 大 学	工 学 部	"	石 桁 正 士
"	大 阪 大 学	人 間 科 学 部	助 教 授	吉 田 光 雄
"	"	理 学 部	講 師	崎 山 稔
"	"	医 学 部	"	高 木 昌 彦
"	"	工 学 部	助 教 授	安 岡 則 武
"	"	"	講 師	林 正
"	"	基 礎 工 学 部	助 教 授	保 田 豊
"	"	教 養 部	"	渡 部 陽 一
"	"	産 業 科 学 研 究 所	"	張 吉 夫

研究開発計画専門委員会委員

	所	属	職 名	氏 名
委員長	大 阪 大 学	工 学 部	教 授	牧 之 内 三 郎
委員	"	理 学 部	助 教 授	村 岡 光 雄
"	"	工 学 部	教 授	笠 井 暢 民
"	"	"	助 教 授	安 井 裕
"	"	教 養 部	"	萬 代 三 郎

次期システム検討委員会委員

	所	属	職 名	氏 名
委 員 長	セ ン タ ー 長		教 授	高 木 修 二
委 員	大 阪 大 学	経 済 学 部	〃	横 山 保
〃	〃	工 学 部	〃	尾 崎 弘
〃	〃	〃	〃	牧 之 内 三 郎
〃	〃	〃	助 教 授	安 井 裕
〃	〃	基 礎 工 学 部	教 授	藤 澤 俊 男
〃	〃	大型計算機センター	助 教 授	藤 井 護

運用室会議委員

	所	属	職 資	氏 名
座 長	大 阪 大 学	工 学 部	教 授	関 谷 全
委 員	〃	理 学 部	助 手	寺 倉 清 之
〃	〃	薬 学 部	助 教 授	藤 原 隆 二
〃	〃	工 学 部	〃	安 井 裕
〃	〃	〃	〃	嘉 納 秀 明
〃	〃	〃	助 手	橘 英 三 郎
〃	〃	基 礎 工 学 部	〃	奥 田 育 秀
〃	〃	産 業 科 学 研 究 所	〃	堀 内 弘 之
〃	〃	蛋 白 質 研 究 所	助 教 授	田 中 信 夫

プログラム相談員名簿

所	属	職 名	氏 名
奈 良 県 立 医 科 大 学		助 手	赤 井 久 純
大 阪 電 気 通 信 大 学		〃	武 知 英 夫
大 阪 大 学	理 学 部	〃	城 健 男
〃	〃	大 学 院 後 期 課 程	浜 田 典 明
〃	〃	〃	畑 安 雄
〃	薬 学 部	助 手	藤 井 敏
〃	工 学 部	〃	三 木 邦 夫

所	属	職 名	氏 名
大 阪 大 学	工 学 部	助 手	斎 藤 年 史
"	"	"	打 浪 清 一
"	"	大 学 院 大 後 期 課 程	久 保 登
"	"	大 学 院 大 前 期 課 程	橘 哲 一
"	"	助 手	伊 藤 皓
"	基 礎 工 学 部	"	植 村 知 正

プログラム指導員名簿

所	属	職 名	氏 名
釧路工業高等専門学校		講 師	風 間 輝 雄
東 北 大 学	電 気 通 信 研 究 所	助 教 授	高 橋 理
"	理 学 部	助 手	氏 家 慧 一
岩 手 大 学	工 学 部	助 教 授	照 井 武 彦
東 京 農 工 大 学	"	助 手	音 田 稔
"	"	"	国 眼 孝 雄
電 気 通 信 大 学		"	斉 藤 栞 朗
神 奈 川 大 学	工 学 部	"	鍛 島 静 子
茨 城 大 学	理 学 部	教 授	岡 本 茂
東 京 水 産 大 学		講 師	三 堀 友 雄
玉 川 大 学	工 学 部	助 教 授	中 村 充 伸
岐阜工業高等専門学校		"	橋 浦 正 史
名古屋市立大学	経 済 学 部	助 手	小 林 ア ヤ 子
名古屋工業大学		教 授	佐々木 次 郎
名古屋大学	大型計算機センター	助 手	飯 田 三 郎
金 沢 大 学	工 学 部	教 授	長 田 勇
"	"	助 手	西 川 清
京都工芸繊維大学	工 芸 学 部	教 授	弓 場 芳 治
金 沢 工 業 大 学		助 教 授	加 藤 恭 子
滋 賀 大 学	経 済 学 部	"	大 矢 知 浩 司
"	経 済 短 期 大 学 部	講 師	法 雲 俊 邑
関 西 学 院 大 学	情 報 処 理 セ ン タ ー	講 師	雄 山 真 弓
岡 山 理 科 大 学	"	助 手	青 江 俊 夫

所	属	職 名	氏 名
神 戸 大 学	工 学 部	〃	鷹 岡 康 夫
阿南工業高等専門学校		〃	吉 川 勝 幸
大 阪 医 科 大 学		講 師	山 本 和 子
大 阪 府 立 大 学	計 算 セ ン タ ー	助 教 授	西 村 ミ チ コ
広 島 修 道 大 学	商 学 部	教 授	田 辺 拓
南 九 州 大 学	園 芸 学 部	講 師	増 田 康 雄
九 州 大 学	工 学 部	文 部 技 官	塩 川 浩 三
大 阪 大 学	歯 学 部	助 教 授	森 脇 豊
〃	工 学 部	〃	難 波 義 治
〃	〃	〃	橘 英 三 郎
〃	教 養 部	助 教 授	萬 代 三 郎
〃	〃	〃	小 川 和 英
〃	核物理研究センター	〃	山 寄 魏
〃	医療技術短期大学部	講 師	大 森 正 昭

昭和53年度 計算機稼動状況

システム ACOS シリーズ 77 NEAC (システム800) 記憶容量4096KB (単位、時間)

	4 月	5 月	6 月	合 計	平 均
サービス時間	174:01	191:08	208:17	573:26	191:08
開発時間	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
講習会時間	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
準備時間	2:10	2:51	4:05	9:06	3:02
アキ時間 (※)	0:05	1:30	2:30	4:05	1:21
業務時間	317:41	261:08	225:01	803:50	267:56
小計 (A)	493:57	456:37	439:53	1390:27	463:29
保守時間 (B)	37:28	45:13	56:34	139:15	46:25
故障時間 (C)	0:00	1:50	3:03	4:53	1:37
運転時間 (A+B+C)	531:25	503:40	499:30	1534:35	511:31
稼動率 (A-※)/(A+B+C)%	92.9	90.3	87.5	—	90.3
稼動可能率 (A/(A+B+C))%	92.9	90.6	88.0	—	90.6
運転日数 (D)	27	26	29	82	27
一日平均時間 (A/D)	18:17	17:33	15:10	16:57	16:57

昭和53年度 バッチ利用状況表

利用形態 \ 処理月		4 月	5 月	6 月	合 計
オープン	処理件数	3,253(23.1)	4,141(23.2)	5,178(25.9)	12,572(24.2)
	CPU時間	27,847	39,938	50,282	118,067
デマンド	処理件数	1,601(11.4)	2,270(12.7)	2,462(12.3)	6,333(12.22)
	CPU時間	298,198	283,203	324,851	906,252
オープン 磁気テープ	処理件数	0(0.00)	80(0.44)	350(1.75)	430(0.82)
	CPU時間	0	1,165	11,093	12,258
クローズ	処理件数	10(0.07)	27(0.15)	49(0.24)	86(0.16)
	CPU時間	66	1,113	3,772	4,951
会 話 型 リモート	処理件数	502(3.57)	567(3.17)	996(4.98)	2,065(3.98)
	CPU時間	62,329	52,680	73,460	188,469
そ の 他	処理件数	2,384(16.9)	3,171(17.7)	3,146(15.7)	8,701(16.7)
	CPU時間	62,806	104,293	98,604	265,703
リモート	処理件数	2,564(18.2)	3,387(18.9)	3,530(17.6)	9,481(18.2)
	CPU時間	139,019	141,378	128,218	408,615
T S S	会 話 数	3,716(26.4)	4,194(23.5)	4,254(21.3)	12,164(23.4)
	CPU時間	169,170	119,341	128,775	417,286
合 計	処理件数	14,030	17,837	19,965	51,832
	CPU時間	759,435	743,111	819,055	2,321,601

(注) 1. () 内は%を示す

2. 合計欄の処理件数にはTSS会話数を処理件数とみなして集計している。

昭和52年度 バ ッ チ 利 用 状 況 表

システム	JOB 区分	月	4月（％）	5月（％）	6月（％）	7月（％）	8月（％）	9月（％）	10月(％)	11月(％)	12月(％)	1月(％)	2月(％)	3月(％)	合 計(％)
Ⅰ	オ ー プ ン	処理件数	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	27 (0.91)	0 (0.00)	0 (0.00)	26 (0.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	53 (0.1)
		CPU時間	0	0	0	0	0	0	400	0	0	233	0	0	633
	A	処理件数	302 (20.98)	403 (15.09)	567 (16.18)	735 (21.69)	586 (18.97)	867 (22.28)	382 (12.90)	512 (15.71)	600 (15.97)	581 (16.9)	631 (13.8)	627 (20.6)	6,799 (17.4)
		CPU時間	26,565	33,910	48,310	60,665	48,660	72,121	31,359	44,796	51,042	58,164	55,483	62,364	593,439
	B	処理件数	897 (62.77)	1,528 (57.24)	1,726 (49.27)	1,484 (43.80)	1,425 (46.14)	1,281 (32.93)	1,192 (40.28)	1,305 (40.04)	1,724 (45.88)	1,571 (45.2)	2,484 (54.6)	1,664 (54.7)	18,281 (46.8)
		CPU時間	206,545	358,855	373,755	325,254	291,321	251,885	262,008	302,660	445,709	358,166	552,161	388,939	4,117,258
	C	処理件数	15 (1.04)	7 (0.26)	10 (0.28)	21 (0.61)	65 (2.10)	51 (1.31)	99 (3.34)	84 (2.57)	56 (1.49)	45 (1.2)	80 (1.7)	56 (1.8)	589 (1.4)
CPU時間		25,355	8,666	18,690	17,651	91,503	46,305	150,431	143,581	78,608	57,133	82,097	91,380	818,400	
リモート・ バ ッ チ	処理件数	190 (13.29)	641 (24.01)	1,033 (29.48)	874 (25.79)	500 (16.19)	942 (24.21)	783 (26.46)	899 (27.58)	1,056 (28.10)	872 (25.1)	904 (19.8)	307 (10.1)	9,001 (23.08)	
	CPU時間	13,647	13,466	24,935	22,109	15,257	34,091	30,949	33,941	48,208	76,406	117,430	27,815	458,254	
そ の 他	処理件数	25 (1.74)	90 (3.37)	167 (4.76)	274 (8.08)	512 (16.58)	749 (19.25)	476 (16.08)	459 (14.08)	321 (8.54)	369 (10.6)	444 (9.7)	383 (12.6)	4,269 (10.9)	
	CPU時間	243	445	1,947	2,921	8,176	4,967	9,732	15,234	10,858	15,228	10,835	7,213	90,799	
計	処理件数	1,429	2,669	3,503	3,388	3,088	3,890	2,959	3,259	3,757	3,470	4,543	3,037	38,992	
	CPU時間	272,355	415,342	470,637	428,600	454,917	409,369	484,879	540,212	634,425	565,330	825,006	577,711	6,078,783	
Ⅱ	暫定バッチ	処理件数	55 (12.14)	208 (9.69)	246 (13.14)	346 (11.40)	414 (10.92)	414 (8.65)	234 (5.86)	324 (7.36)	497 (10.43)	1,488 (30.1)	1,298 (21.6)	579 (15.5)	6,103 (13.9)
		CPU時間	229	3,391	13,825	4,609	4,666	3,648	13,521	4,831	37,325	49,425	134,707	36,833	307,010
	リモート・ バ ッ チ	処理件数		82 (3.82)	110 (5.87)	905 (29.82)	1,371 (33.55)	1,695 (35.44)	1,829 (45.84)	2,121 (48.21)	2,467 (51.79)	2,044 (41.3)	3,314 (55.2)	2,126 (56.9)	18,064 (41.1)
		CPU時間		683	4,097	90,027	95,892	53,519	51,889	71,578	109,203	107,575	243,982	179,572	1,008,017
	そ の 他	処理件数	396 (87.80)	1,856 (86.48)	1,515 (80.97)	1,783 (58.76)	2,003 (52.87)	2,673 (55.89)	1,927 (48.29)	1,954 (44.41)	1,799 (37.77)	1,407 (28.5)	1,391 (23.1)	1,027 (27.3)	19,731 (44.98)
CPU時間		14,610	41,714	36,925	82,569	35,878	57,489	61,494	66,280	62,578	39,792	25,932	34,990	560,251	
小 計	処理件数	451	2,146	1,871	3,034	3,788	4,782	3,990	4,399	4,763	4,941	6,003	3,732	43,870	
	CPU時間	14,839	45,788	68,672	177,205	136,436	114,656	126,904	142,689	209,106	196,792	404,621	351,234	1,990,922	
T S S	処理件数	1,314	2,762	1,852	3,055	2,819	3,164	2,552	3,042	3,667	2,659	3,092	2,431	32,409	
	CPU時間	16,664	26,128	17,031	71,324	70,384	142,773	116,484	111,784	148,133	104,322	161,362	99,847	1,086,236	
Ⅲ	オ ー プ ン	処理件数	4,121 (74.38)	5,730 (70.58)	7,224 (74.05)	6,857 (75.13)	5,096 (63.36)	5,954 (63.88)	4,951 (66.71)	6,830 (70.46)	7,168 (70.18)	7,025 (70.4)	8,081 (69.1)	5,266 (70.6)	74,303 (69.8)
		CPU時間	52,505	69,833	91,336	93,205	66,866	78,851	61,801	88,489	92,003	91,916	106,718	70,983	964,501
	A	処理件数	1,152 (20.79)	1,914 (23.57)	1,789 (18.30)	1,404 (15.38)	1,660 (20.64)	1,501 (16.10)	1,552 (20.91)	1,869 (19.28)	1,962 (19.21)	1,982 (19.8)	2,255 (19.3)	1,057 (14.1)	20,097 (18.8)
		CPU時間	87,473	125,031	126,760	103,476	127,250	129,612	114,123	142,172	162,934	174,653	182,734	97,623	1,573,841
	B	処理件数	117 (2.11)	153 (1.88)	91 (0.93)	179 (1.96)	162 (2.01)	262 (2.81)	109 (1.46)	61 (0.62)	47 (0.46)	30 (0.3)	46 (0.3)	56 (0.7)	1,313 (1.2)
		CPU時間	27,447	32,569	22,982	36,230	23,205	56,248	23,948	13,568	9,354	10,736	11,264	10,920	278,471
C	処理件数	64 (1.15)	118 (1.45)	131 (1.34)	114 (1.24)	202 (2.51)	185 (1.98)	194 (7.61)	224 (2.31)	267 (2.61)	224 (2.2)	363 (3.1)	276 (3.1)	2,362 (2.2)	
	CPU時間	85,746	92,732	136,274	92,404	222,137	118,289	214,323	236,021	309,981	248,232	297,593	364,459	2,418,191	
そ の 他	処理件数	86 (1.55)	203 (2.50)	520 (5.33)	572 (6.26)	922 (11.46)	1,418 (15.21)	615 (8.28)	709 (7.31)	769 (7.53)	712 (7.1)	933 (7.9)	803 (10.7)	7,493 (7.0)	
	CPU時間	569	2,637	4,687	4,627	11,443	15,156	11,726	10,385	17,174	13,027	13,719	11,011	116,161	
計	処理件数	5,540	8,118	9,755	9,126	8,042	9,320	7,421	9,693	10,213	9,973	11,678	7,458	106,337	
	CPU時間	253,740	322,802	382,039	329,942	450,901	398,156	425,921	490,635	591,446	538,564	612,028	554,996	5,351,270	
Ⅳ	T S S	会 話 数	284	216	54	S 52.6.11日をもってサービスを終了した。									
		CPU時間	72,059	25,510	4,356										

(注) 1. 〃は、同一システム内での百分比を示す。
2. システムⅠは、NEAC2200シリーズ・モデル700。 システムⅡは、ACOSシリーズ77システム700。 システムⅢは、NEAC2200シリーズ・モデル700。
システムⅣは、NEAC2200シリーズ・モデル500。(6月末撤去)

※ おわび センター・ニュース№29の11～12pに掲載しましたバッチ利用状況表に一部誤りがありましたので再掲載します。

「速報」及び「お知らせ」の集録

＜速報 No. 52（53. 6. 9）より＞

I デマンド・プリンティング・サービスの開始について

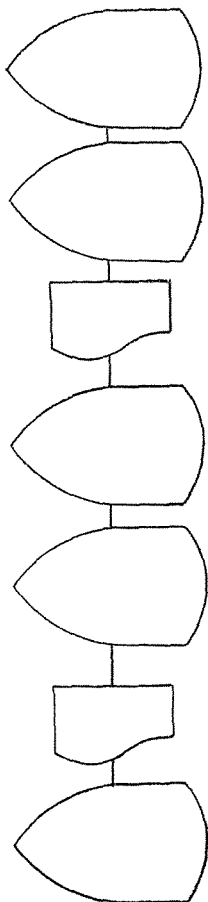
現在、A、B、C、D、F各クラスのジョブは一階デマンドプリント室のラインプリンタに出力（処理が終了後プリント出力）していますが、6月19日よりデマンド機能を追加し、デマンド・プリンティング・サービスを開始いたします。

このサービスにより、利用者はデマンドプリント室にある端末（ミニプリンタ）から利用者自身のジョブ出力をプリントアウトしたり、ジョブ出力のキャンセル（ジョブ出力中のジョブはキャンセルできません）を行うことができます。

詳細な操作法はデマンドプリント室に掲示しますのでそれを参照してください。

ただし、CARDINサブシステム、BPRINTを利用して計算結果（ファイル・イメージを含む）をセンター出力した場合は、センター側で仕訳を行い返却棚に返却いたします。

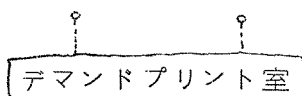
※操作法



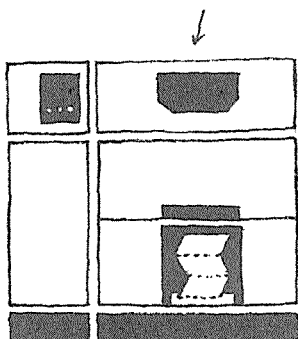
1. ミニプリンタからログオンする
(CTLキーとAキーを同時に押す)
2. 利用者の課題番号とパスワードを入力
3. LIST (cr) を入力し現在プリント待ちのジョブをリストアップする。

SEQ	SNUMB	TYPE	SIZE
XX	XXXXX	X	XXX
}	}	}	}

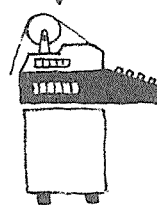
4. ALLP (cr) 又は SELP (cr) を入力しジョブを出力するか、ALLC (cr) 又は SELC (cr) を入力してジョブをキャンセルする。
5. プリント要求又はキャンセル要求がまちがっていないければGO (cr) を入力する。
6. プリント スタート又はキャンセル処理
7. プリント出力又はキャンセル処理が終了すればBYE (cr) か NEWU (cr) を入力する



ラインプリンター



ミニプリンター
ター端末



(業務掛)

Ⅱ カナ文字入出力の運用サービス開始について

カナ文字の入出力がオープン・ジョブクラス以外で利用できるようになりました。特別なジョブ制御文は必要ありませんが、FORTRANプログラムでカナ文字を使用する時はJISモードで翻訳する必要があります。

詳細は「FORTRANプログラミング説明書」の第10章を参照してください。

(業務掛)

Ⅲ ファイル使用説明書・オンライン関係利用説明書及び利用の手引きの発行について

昭和53年4月からのACOSシリーズNEACシステム800（以下S800という）正式運用サービスに伴い、ファイル使用説明書・オンライン関係利用説明書及び、利用の手引きを発行いたしました。

ファイル使用説明書は、これまでセンター・ニュースに連載してきました「ACOSファイル」に補足説明等を加え編集したものです。

オンライン関係利用説明書は、従来のTSS関係だけにとどめず、リモート関係・これら関係書類等を掲載し、本説明書だけでオンライン関係全般がわかるようになっています。

また、利用の手引きはこれまでの様式を変更し用語・実例等を辞書方式で掲載しました。

これら、利用の手引き等の内容については、説明不足の部分も多々あると思われますが、利用者の意見等を参考にして改訂していく予定ですのでお気付きの点があれば共同利用掛まで御意見等をお寄せください。

(共同利用係)

Ⅳ NEAC2200/700ユーザー・ファイルのS800一括移行ファイルの消去について

速報No.49で添付しました「年度切り換え時におけるファイル移行及び継続申請書」の㊥5にお知らせしましたとおりNEAC2200/700のユーザー・ファイルのS800への移行作業はS800のクィックファイルとして登録し、これを利用者自身によって移行してもらうものでしたが、利用者の利用（課題）申請の遅れ、作業の誤りによる不確実な移行によって、当初の予定であったクィックアクセスファイルの在存期間である4月中には移行作業が無理となる利用者がでてきたことによって、5月中まで延長しました。

これにより、移行作業は完全に終了したと思われるため、5月31日を期してクィックアクセスファイルを全て消去しましたのでお知らせします。

(業務掛)

<速報№ 53 (53.7.24) より>

I TSSターミナルからのデマンド・ジョブ問合せ

1. 概要

デマンド・プリント用ジョブの問合せ及び、キャンセルが可能になりました（プリントは不可）。今のところコネクト可能な端末装置はミニプリンタ（公衆電話回線も可）及び、ニアックタイプ（N6020、N6021型）だけです。

使用法及び、出力メッセージはセンター内のデマンド・プリント・サービス専用の端末とはほぼ同様です。

2. 使用法（下線部は利用者が入力）

① TSSとディスコネクトする

② \$\$\$ CON, DEMAND (cr) → 問合せDACプログラムとコネクト

③ *START DEMAND : yy mmd d hh.mmm

④ *USER ID - XXXXXXXXXX (cr) → 課題番号入力（(cr) のみの場合は⑨へ）

⑤ *PASSWORD - XXXXXXXXXXXX (cr) → パスワード入力（(cr) のみの場合は⑨へ）

⑥ *FUNCTION - XXXX (cr) → (注1) 参照

⑦ *ACTION - XX (cr) 実行可であれば GO (cr) 又は (cr) を入力

⋮
↓

再びFUNCTIONに戻すには NO (cr) を入力

⑧ *FUNCTION - XXXX (cr) → ⑥と同様

⑨ *END DEMAND : yy mmd d hh.mmm

⑩ N1041 hh : mm : ss DIS - CP → ディスコネクト

(注1) FUNCTIONの種類

(a) LIST (cr) → 全登録ジョブ名（デマンドジョブのみ）の端末出力

(注2) 参照

(b) ALLC (cr) → 全登録ジョブ（デマンドジョブのみ）キャンセル

(c) SELC (cr) → ジョブキャンセルの選択 (注3) 参照

(d) BYE (cr) → 処理終了

(e) NEWU (cr) → 新利用者への引渡し要求

(注2) LIST形式

SEQ	SNUMB	TYPE	SIZE	SYSIN—TIME	COMMENT
XX	XXXXW	X	XXXXX	yymmdd hh.mm	⋮
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
(a)	(b)	(c)	(d)	(e)	(f)

(a) 抽出対象番号

(b) SNUMB名

(c) ジョブクラス

(d) ファイルサイズ (LINK単位)

(e) ジョブ投入日時

(f) カードパンチを含む場合 PUNCH

“ 含まない場合 ブランク

(注3) SELC (cr) 入力時は以下の操作を行う。

*ENTER SEQ. NO —

n1, n2, n3 …… n9, n0 (cr)

指定例

01, 02, 05 (cr)

注意)

- ・最高10ケまで指定できる
- ・(cr)のみ入力の場合はFUNCTIONに戻る
- ・指定値はLIST指定で出力されたジョブ名のSEQ番号を入力する
- ・指定値は必ず2けたでありコンマで区切る
- ・指定値の最後には必ず(cr)を入力する

3. 注意事項

- (1) サービス時間はTSSサービスと同じですがサービス終了時刻の5分前には新たにコネクトはできません。
- (2) ALLC (cr) コマンド入力後は BYE (cr) 又は NEWU (cr) コマンド以外受け付けません。
- (3) SELC (cr) コマンドで特定ジョブのキャンセルをした後 LIST (cr) コマンドを入力するとシーケンス番号が変わるので注意すること。
- (4) カードパンチを含むジョブをキャンセルした場合カードパンチが出力されます。
- (5) ミニプリンター及び、ニアックタイプ以外の端末では、コネクトができてても正常に作動

しないことがあります。

4. メッセージ

* ILLEGAL USER ID	入力された課題番号が間違っている
* ILLEGAL PASSWORD	入力されたパスワードが間違っている
* ILLEGAL FUNCTION	入力された FUNCTION コマンドが間違っている
* FORMAT ERROR nn	入力された SEQ. NO の nn 番目が間違っている
* THIS USER ID UNACCEPTABLE NOW	入力された課題番号は他端末により処理中であるので認められない
* NO JOB IN DEMAND FILE	デマンドジョブは登録されていない
* DEMAND SYSTEM ERROR	デマンドのシステムエラーが発生した
* THIS FUNCTION UNACCEPTABLE	入力された FUNCTION コマンドは認められない
* CANCEL REQUEST FINISHED	キャンセル要求が終了した
* THIS TERMINAL CANNOT BE ACCEPTED	コネクトしようとした端末がミニプリンタあるいはニアックタイプ以外であるので認められない
* FULL OF TERMINAL — DISCONNECTED	現在 5 台の端末とコネクト中であるのでコネクトできない
* DEMAND SERVICE END — DISCONNECTED	サービス終了 5 分前以内であるのでコネクトできない

\$\$\$DIS
 \$ NI010 14:12:51 DIS - DIS CMD
 \$\$\$CON DEMAND
 *START DEMAND : 780616 14.233
 *USER ID-6000820123
 *PASSWORD-
 EEEEEEEEEEE
 *FUNCTION-LIST
 *ACTION-

SEQ	SNUMB	TYPE	SIZE	SYSIN-TIME	COMMENT
01	5557W	B	00048	771021 15.240	
02	5552W	B	00048	771021 15.241	
03	5553W	B	00048	771021 15.243	
04	5554W	B	00048	771021 15.244	PUNCH
05	5555W	B	00048	771021 15.245	PUNCH
06	5556W	B	00048	771021 15.246	PUNCH
07	5557W	B	00048	771021 15.247	
08	5558W	B	00048	771021 15.248	
09	5558W	B	00048	771021 15.249	
10	0011W	B	00048	771021 15.011	PUNCH
11	0012W	B	00048	771021 15.012	
12	0013W	B	00048	771021 15.013	
13	0014W	B	00048	771021 15.014	
14	0017W	B	00048	771021 15.017	
15	0018W	B	00048	771021 15.018	PUNCH

*FUNCTION-SELC
 *ACTION-NO
 *FUNCTION-SELC
 *ACTION-GO
 *ENTER SEQ.NO-
 01,12,3
 *FORMAT ERROR 03
 *ENTER SEQ.NO-
 01,02,03
 *FORMAT ERROR 02
 *ENTER SEQ.NO-
 02,08,14

CANCELL REQUEST FINISHED 14.267

*FUNCTION-ALLC
 *ACTION-

CANCELL REQUEST FINISHED 14.273

*FUNCTION-LIST
 *THIS FUNCTION UNACCEPTABLE
 *FUNCTION-NEWU
 *USER ID-6000820114

*PASSWORD-
 000000000000
 *FUNCTION-LIST
 *ACTION-

SEQ	SNUMB	TYPE	SIZE	SYSIN-TIME	COMMENT
01	0001W	A	00048	771021 16.001	
02	0002W	A	00048	771021 16.002	
03	0003W	A	00048	771021 16.003	
04	0004W	A	00048	771021 16.004	PUNCH
05	0005W	A	00048	771021 16.005	
06	0006W	A	00048	771021 16.006	PUNCH
07	0007W	A	00048	771021 16.007	
08	0008W	A	00048	771021 16.008	
09	0009W	A	00048	771021 16.009	
10	0010W	A	00048	771021 16.011	
11	0012W	A	00048	771021 16.012	
12	0013W	A	00048	771021 16.013	
13	0014W	A	00048	771021 16.014	
14	0015W	A	00048	771021 16.015	
15	0017W	A	00048	771021 16.017	
16	0018W	A	00048	771021 16.018	
17	AAA1W	B	00048	771021 17.001	
18	AAA2W	B	00048	771021 17.002	
19	AAA3W	B	00048	771021 17.003	
20	AAA4W	B	00048	771021 17.004	
21	AAA5W	B	00048	771021 17.005	
22	AAA6W	B	00048	771021 17.006	PUNCH
23	AAA7W	B	00048	771021 17.007	
24	AAA8W	B	00048	771021 17.008	
25	AAA9W	B	00048	771021 17.009	
26	AA10W	B	00048	771021 17.010	
27	AA11W	B	00048	771021 17.011	
28	AA12W	B	00048	771021 17.012	
29	AA13W	B	00048	771021 17.013	
30	AA14W	B	00048	771021 17.014	
31	AA15W	B	00048	771021 17.015	
32	AA17W	B	00048	771021 17.017	

*FUNCTION-BYE
 *END DEMAND : 780616 14.301
 \$ N1041 14:17:07 DIS - CP
 \$\$\$CON,DEMAND
 DEMAND SERVICE END--DISCONNECTED
 \$ N1041 14:17:15 DIS - CP
 \$\$\$CON,DEMAND
 DEMAND SERVICE END--DISCONNECTED
 \$ N1041 14:17:26 DIS - CP

(システム管理掛)

Ⅱ SNUMB カード使用の際の注意事項等について

速報№51でお知らせしましたように、同じSNUMBカードを2度以上使用された場合、後の負担金通知書作成の際に混乱が起こります。又、何かの理由によって再計算依頼を行う必要があった場合にも該当ジョブの発見が不可能なために、再計算処理を受け付けることができません。

同じ、SNUMBカードを2度以上使わぬよう、又、センター・オープン入出力装置を使用しての利用の際には、1度使用したSNUMBカードは使用済カード入れに返却することを厳守してください。

なお、該当月分再計算依頼は、翌月の7日までにジョブ受付まで申し出られるようお願いします。これ以後の依頼受付はできません。

(共同利用掛)

Ⅲ 科学研究費による計算機利用申請について

負担経費区分が科学研究費である利用申請については、所定の申請書のほかに下記書類を必要としますので、利用申請書提出の際は、下記書類を必ず添付するようお願いします。

記

(1) 利用申請者が科学研究費を受ける代表者である場合

科学研究費補助金配分(内定)通知書の写し、又は、所属部局が申請者に発行した科学研究費の決定に関する通知書の写し。

(2) 分担者である場合

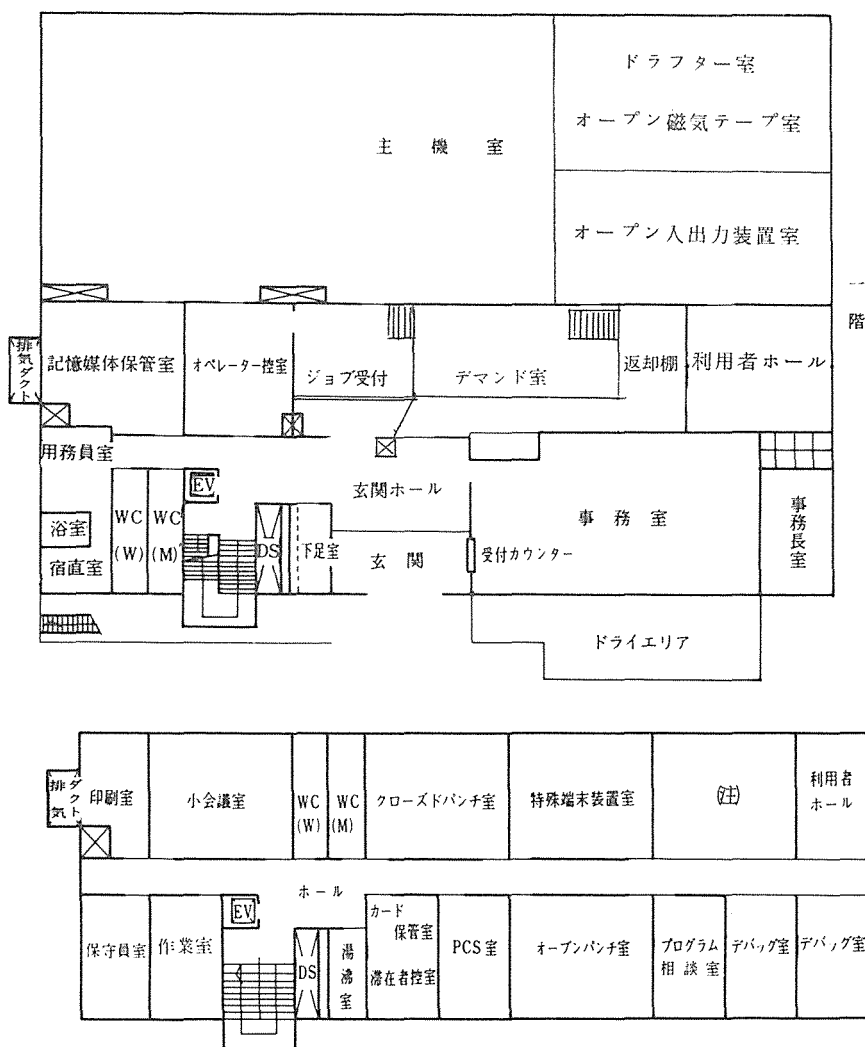
(1)のコピーと科学研究費補助金交付申請書の写し。

(共同利用掛)

Ⅳ オープン入出力装置及び自動製図装置の移設について

現在当センター2階に設置してありますオープン入出力装置(カードリーダー2台、ラインプリンター2台、ディスプレイ等)を8月19日(土)の午後と、20日(日)に次図のように1階主機室隣に移設し、21日(月)より、ここにおいてオープン入出力サービスを行います。

又、自動製図装置(ドラフター)についても、8月7日(月)、8月8日(火)に次図のように主機室隣に移設する作業を行います。この間利用できませんので御注意下さい。



(注) 54年1月からオープン入出力室(フロッピーディスク、手書きOCR)として利用できる
ように準備いたしますので、53年8月21日から54年1月までの間、利用者の入室
は禁止いたします。

(業務掛)

V カードせん孔機の一部変更について

7月末を期して当センター、豊中地区データステーション及び、中之島地区データステーションに設置してありますカードせん孔機の一部を次表のように変更します。新機種の使用法については、設置場所に掲示しますので参照してください。

設 置 場 所		せん 孔 機	せん 孔 機 (カ ナ 付)	イン タ プ リ タ 付 検 孔 せん 孔 機 (カ ナ 付)	検 孔 せん 孔 機 (カ ナ 付)	備 考
センター	オープンパンチ室	8		1		
	デ バ ッ グ 室	4	1			
	1階利用者ホール	1	1			
	P C S 室 (注)			1	1	2 台を接続しカード 複写可能とする
豊 中 D・S		6	1	1		
中 之 島 D・S		1		1		

(注) P C S 室のものは 8 月中旬に変更

(共同利用掛)

Ⅵ センター・ライブラリーについて

(1) センター・ライブラリーの移行登録について

帯行列に関する次の 8 個のサブプログラムが NEAC シリーズ 2200 モデル 700 (以下 M700 という) から ACOS シリーズ 77 NEAC システム 800 (以下 S800 という) のセンター・ライブラリーへ移行登録され、8 月 1 日より使用可能となります。

各サブプログラムの使用法は M700 のときと同じですが¹⁾、エラーメッセージの出力に変更があります。詳細については、センター・ニュース No. 30 (8 月刊行予定) でお知らせします。

(1) S800 に登録されたサブプログラム

連立 1 次方程式

$$\begin{cases} \text{BSWEPS} \\ \text{BSWEPD} \end{cases} \quad \begin{cases} \text{YSWEPS} \\ \text{YSWEPD} \end{cases}$$

連立 1 次方程式と行列式

$$\begin{cases} \text{BDETES} \\ \text{BDETED} \end{cases} \quad \begin{cases} \text{YDETES} \\ \text{YDETED} \end{cases}$$

なお、上記 8 個のサブプログラムのランク²⁾は、いずれも 2 となります。

(2) 引数 I L L の出力データ

サブプログラム内での計算結果の状況を与える引数 I L L (整数型変数) の値について、

次の4の場合に変更があり、従来は正の値で出力されていたものが、絶対値は同じで負の値で出力されます。

- 1 $ILL=0$: 計算が正常に行われたとき
- 2 $ILL=-90000$: 行列の整合寸法又は、次元数に関する入力データに語りがあったとき
- 3 $ILL>0$: 計算結果の精度が悪いとき
- 4 $ILL<0$: 与えられた行列が特異又は、擬特異のために、演算を中止したとき

(3) エラーメッセージの消去

上記の引数 ILL に、入力時に値を与えることにより、エラーメッセージの一部を消すことができます。

- 1 $ILL=0$: (2)の2～4の状態が生じたときには、従来どおりのメッセージを印刷します。
- 2 $ILL>0$: (2)の3の状態が生じたとき、エラーメッセージは印刷されません。
- 3 $ILL<0$: (2)の3,4の状態が生じたとき、エラーメッセージは印刷されません。

(注) 入力時には、 ILL の値を指定してください。

上述の引数の変更は、速報No.51でお知らせしました正方行列の場合と同じです。

- 1) 大阪大学大型計算機センター：ライブラリー・プログラム仕様書、1976
- 2) 大阪大学大型計算機センター：ライブラリー・プログラム一覧、1977

(2) SLNEQ I の登録まつ消について

反復法による連立1次方程式の解法 F4/SLNEQ I はプログラムに誤りがありましたので8月1日よりセンターライブラリーからまつ消します。同じ解法 (GAUSS-SEIDEL法) を用いたのが MATHLIB の中にありますから (呼び出し名: SBGAUS) そちらを御利用ください。

(2) 書き換え作業の停止について

原子核反応解析プログラム YI/TWO-STEP、YI/DUWAC は作成者の都合により書換えを行わないことになりましたので御了承ください。

(研究開発部)

Ⅶ 利用者講習会の開催日変更について

すでにセンター・ニュースNo.28で広報しております昭和53年度利用者講習会計画のうち、7月上旬開催予定の「ファイルの利用法」の講習会を都合により9月中旬に延期いたしましたので御了承願います。

(庶務掛)